

(別添1)

No.	18
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和3年2月
見直し年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画

新潟県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

○ 国内の主食用米の需要減少が続く中で、水田率が約9割と高く米経営が中心である本県の農業産出額は減少傾向にあり、農業者の所得向上を図るためには、園芸導入により稲作経営体の経営の幅を広げていく必要がある。

○ このため、県は、令和元年7月に「新潟県園芸振興基本戦略」を策定し、農業経営の幅を広げる園芸生産の導入・拡大に向けて、様々に挑戦する農業者・産地を県と関係機関・団体が一体となって生産から販売まで一貫してサポートする取組を進めている。

○ 戦略の目標である1億円産地の倍増や栽培面積の1,000ha増を図る上で、水田における園芸導入についても積極的に推進しており、地域の実情に応じて、国の支援等を活用し、水田の畑地化を含めた園芸導入を図っていくこととする。

【新潟県園芸振興基本戦略における目標】

1 販売額1億円以上産地数を倍増させる。

現状:51 産地→目標:101 産地

2 園芸の栽培面積1,000ha 増を目指すとともに、新たに園芸に取り組む農業者の拡大を図る。

2. 目標

(1) 推進方針

新潟県は、園芸振興基本戦略に基づき、県としての重点品目は選定せず、各地域において適地適作の園芸作物の拡大を図ることとしている。

さらに、他の品目においても地域段階での水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置等を推進し、更なる産地の創出を図ることを目指し、県の令和6年度園芸産出額目標の620億円の達成に資する。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ぶどう	加工・業務用	露地	近年の日本ワインブーム等により、醸造用ぶどうの原料が不足している中、実需者ニーズを捉えた新たな産地形成が見込まれるため。	0.14 ha (令和元年)	2.23 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,063 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	5,925,000 円 (令和6年)		
えだまめ	生食用	露地	県産枝豆は首都圏の実需からも高い評価を得ており、その需要量も多い中で、高位安定的な収量・品質の確保による新たな産地形成が見込まれるため。 また、県内有数の水田農業地帯での作付拡大が期待でき、水田の高度利用に伴う収益性の確保が見込まれるため。	20.64 ha (令和元年)	55.15 ha (令和9年)	377 kg/10a (令和元年)	388 kg/10a (令和9年)	21,220,000 円 (令和元年)	130,964,800 円 (令和9年)		
トマト	加工・業務用	露地	加工メーカーからの需要があり、加工・業務用として推進を図っている品目であるため。 また、全農と連携しながら推進を図っている品目であり、まとまったロットの確保が期待できるため。	0 ha (令和2年)	0.5 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	6,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,200,000 円 (令和8年)		

2. 目標

キャベツ	生食用	露地	県内市場において現状では県内産のシェアが低い品目であり、県内産の需要もあるので県内シェアを高める余地がある品目であるため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進めることで、生産性を向上させ、ロットの確保も期待できるため。	0 ha (令和2年)	0.2 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和2年)	2,545 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和2年)	567,000 円 (令和9年)		
こんにゃくいも	加工・業務用	露地	県内こんにゃく製造メーカーから県産原料の拡大の需要があり、作付けを推進しているため。 また、鳥獣被害に強いことから、中山間地域でも作付けできる品目であることから、県内で広く作付けが可能でありロットの確保も期待できるため。	0 ha (令和2年)	1.73 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	2,500 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	8,860,000 円 (令和8年)		
さといも	生食用	露地	県を代表する園芸品目のひとつであり、県内だけでなく県外からも需要がある品目であるため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。	0.9 ha (令和2年)	3 ha (令和8年)	1,400 kg/10a (令和2年)	1,535 kg/10a (令和8年)	3,780,000 円 (令和2年)	12,627,585 円 (令和8年)		
だいこん	加工・業務用	露地	漬物等の地元メーカーと結びついた加工・業務用需要があるため。 また、県内でも広く栽培されている品目でありロットも確保しやすいため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。	0.2 ha (令和2年)	0.3 ha (令和8年)	3,970 kg/10a (令和2年)	4,000 kg/10a (令和8年)	714,515 円 (令和2年)	1,080,000 円 (令和8年)		
たまねぎ	生食用	露地	水田を活用した土地利用型の園芸品目として、本県での栽培に適した品目であり、機械化や集出荷施設の整備も進んでおり、稲作農家の園芸導入品目として推進を行っているため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。 また、新潟県産のたまねぎは全国的には端境期となり、市場からの需要もあるため。	0 ha (令和2年)	0.6 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	3,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,530,000 円 (令和8年)		

2. 目標

たまねぎ	加工・業務用	露地	水田を活用した土地利用型の園芸品目として、本県での栽培に適した品目であり、機械化や集出荷施設の整備も進んでおり、稲作農家の園芸導入品目として推進を行っているため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。 また、県内実需者や学校給食からの需要があるため。	0 ha (令和2年)	0.45 ha (令和9年)	0 kg/ 10a (令和2年)	4,556 kg/ 10a (令和9年)	0 円 (令和2年)	1,150,000 円 (令和9年)		
ブロッコリー	生食用	露地	生育期間が短く、本県の水田で導入が進んでいるえだまめとの組み合わせに適した品目であり、体系的に推進することでロットの確保も可能であるため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。 また、県内市場からの需要があるため。	0.2 ha (令和2年)	1.1 ha (令和9年)	600 kg/ 10a (令和2年)	924 kg/ 10a (令和9年)	288,000 円 (令和2年)	2,894,200 円 (令和9年)		
ふきのとう	生食用	露地	魚沼地域を中心に、水田での転換作物として導入が進んでいる。水田で株を養生しハウスで促成栽培をする体系により、魚沼地域の稲作農家の複合経営に組み込まれており、ロットの確保も可能であるため。 首都圏の市場からの需要もあり販路も確保されているため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。	0.2 ha (令和3年)	0.77 ha (令和9年)	202 kg/ 10a (令和3年)	240 kg/ 10a (令和9年)	127,680 円 (令和3年)	4,620,000 円 (令和9年)		
アスパラ菜	生食用	施設	栽培期間が冬期間にあたるため、ハウスを活用した稲作農家の園芸導入の品目のひとつとして有効であるため。 また、ほ場整備による水田の汎用化を進め、生産性を向上させ、今後も拡大を図っていく品目であるため。	0 ha (令和3年)	0.1 ha (令和9年)	0 kg/ 10a (令和3年)	2,000 kg/ 10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	800,000 円 (令和9年)		

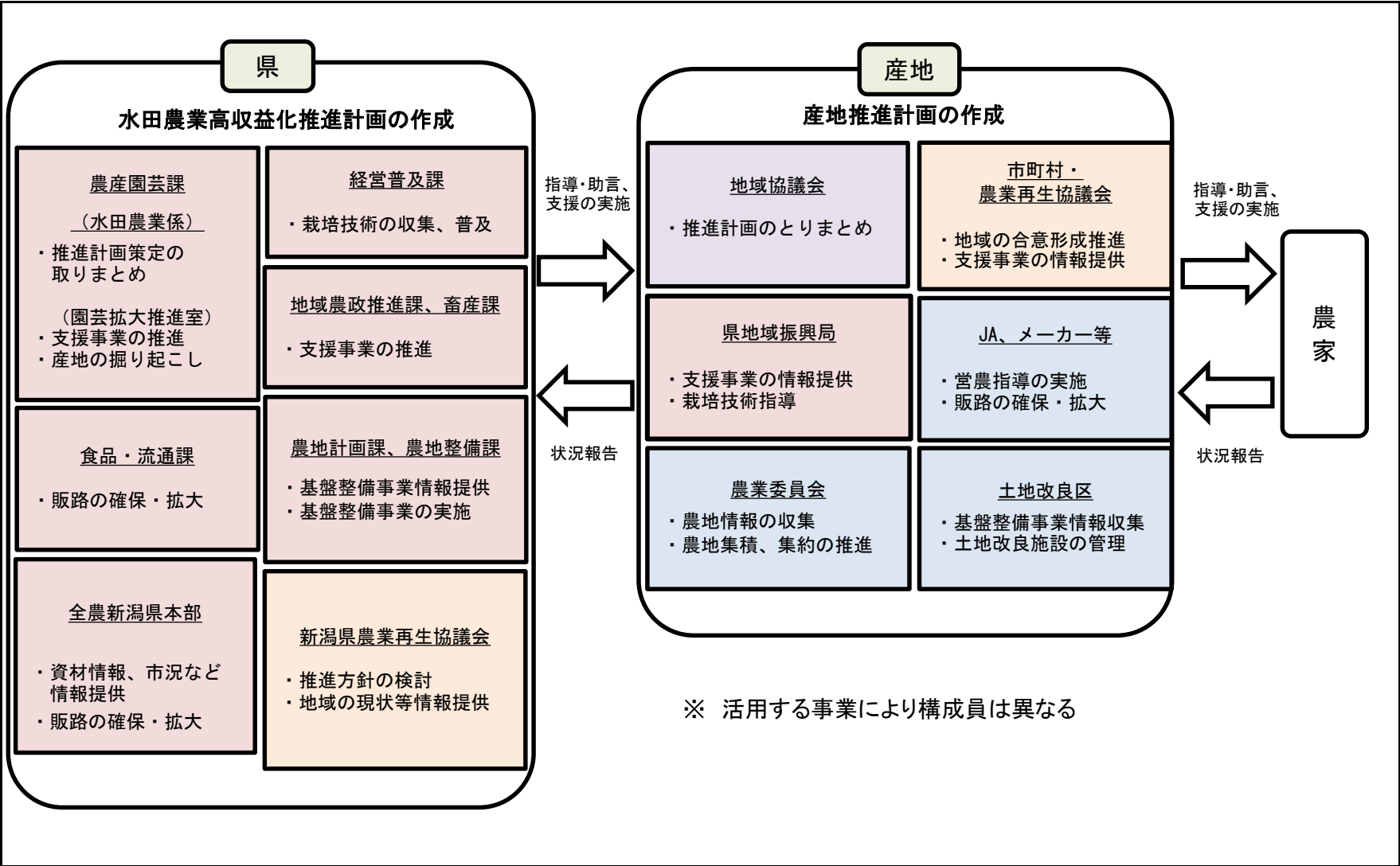
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

新潟県園芸振興基本戦略の目標である1億円産地の倍増や、栽培面積の1,000ha増の実現に向けて、水田での園芸導入も進めており、機械化体系の推進や施設化、省力化技術の導入、ほ場整備による水田の汎用化等により、水田での園芸産地の育成を図る。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
ぶどう(加工用)	稲作農業者等を対象とした研修会等の開催により、収益の高い加工用ぶどうの栽培を提案することで、新規取組者を確保し、既存生産者の規模拡大と併せて、作付面積を拡大していく。	密植により高収量化が可能となる根圏制御栽培や垣根栽培の導入推進により、収量の向上を図る。	加工用ぶどうは、国産を求める需要に対し生産量が不足しており、単価高の傾向が続いている。本県においては、従来より上越地域において加工用ぶどうを用いたワイン生産が行われている。既存の生産体制を活かし、更なる面積・生産量拡大により販売ロットを確保し、加工用ぶどう産地としての地位確立と地域ブランド力の向上を図る。	
えだまめ(生食用)	既存の生産者、新規取組生産者に対する指導強化と併せて、機械化支援(補助事業等)による労力不足解消、栽培ほ場の集約化・団地化による作業性の向上等、現地課題を的確に捉え、効率的に解決することで、作付面積を拡大していく。	既存の生産者、新規取組生産者に対する指導強化、地域内における主要作業(収穫・調製作業等)の受委託システムの構築による適期作業の実施、栽培期間中の主要病害虫対策の徹底(ネキリムシ類、赤かび病等)、基盤整備による農地の畑地化・汎用化に加え、排水対策(畝立、スタブルカルチ、弾丸暗渠、周囲明渠等)、追肥作業等によって収量・品質の向上を図る。	既に県産枝豆は実需から高い評価を得ている一方で、その出荷量、品質ともに実需が求める水準は高くなっている。 出荷調製施設での選別の強化・徹底等による品質向上、新潟系14号・晩酌茶豆等の新たな品種の導入による安定供給、作期の拡大等により販売額の向上を図る。	
トマト(加工・業務用)	稲作農業者等を対象とした研修会等の開催により、需要のある加工用トマトの栽培を提案することで新規取組者を確保し、生産者の規模拡大と併せて、作付面積を拡大していく。 将来は機械化による大規模作付けも目指す。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 また、新規取組者に対する指導強化により、安定的な収量となるよう研修する。	加工メーカーとの契約により、安定した単価での販売が可能であるため、作付面積拡大によりロットを確保し、販売額の向上を図る。	

4. 目標達成に向けた取組

キャベツ(生食用)	稲作農業者等を対象とした研修会等の開催により、新規導入・定着を図る。 また、ほ場整備事業を通じた作付け誘導を図る。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 また、新規取組者に対する病害虫対応の指導強化により、安定的に収量の向上を図る。	県内市場における県内シェア率が低いことから、JAを通じた販売を市場主体として、春や秋冬キャベツの安定生産・販売を行う。 基盤整備の進展と合わせながら規模を拡大することでロットを確保し、販売額の向上を目指す。	
こんにゃくいも(加工・業務用)	機械化体系による生産を推進し、稲作農家の新規導入を図る。また、鳥獣害に強い特性を活かし、中山間地域での作付けを推進する。	排水が悪いと収量が低下するため、ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 県内こんにゃく製造メーカーと連携し、先進地視察の実施や関係機関による栽培指導により、収量向上を図る。	県内こんにゃく製造メーカーへの販売を基本とし、作付面積を拡大することでロットを確保する。 また、将来的には、加工・販売といった6次産業化も視野に販売を進める。	
さといも(生食用)	ほ場整備を契機として、園芸作物の団地化を図る。また、稲作農家への研修会等により、新規取組者を確保する。 また、各種機械の導入を進めることで面積拡大を図る。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 また、種芋の選定、株間の調整、梅雨や台風前後の防除の徹底により、収量の向上を図る。	県外市場から需要のある品目であり、JAを介して県外市場へ販売し、生産量の拡大によりロットを確保し、販売額の向上を図る。	
だいこん(加工・業務用)	既存の産地と地元メーカーの結びつきによる生産中心となっているので、需用の拡大に合わせて作付面積の拡大を図る。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 普及センターや関係機関により品種選定や栽培指導を行い、収量の向上を図る。	地元メーカーとの連携により、漬物等の商品の原料として付加価値を高め、ブランド化し販路の拡大を進める。 また、需要の拡大に合わせて生産を拡大し、ロットを確保することで販売額の向上を図る。	
たまねぎ(生食用)	機械化支援(補助事業等)による労力不足解消、ほ場整備による栽培ほ場の集約化・団地化により、作付面積を拡大していく。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、水田を汎用化し生産性の向上を図る。 既存の生産者、新規取組生産者に対する栽培指導強化(適期作業の徹底、病害虫防除・追肥)や出荷調整時の選別の強化により収量の向上を図る。	新潟県産のたまねぎは全国的には端境期となるので、JAを通じた市場出荷を主として、安定生産・販売を行う。 基盤整備の進展と合わせながら規模を拡大してロットを確保し、販売額の向上を目指す。	

4. 目標達成に向けた取組

たまねぎ(加工用)	機械化支援(補助事業等)による 労力不足解消、ほ場整備による 栽培ほ場の集約化・団地化により、 作付面積を拡大していく。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、 水田を汎用化し生産性の向上を図る。 既存の生産者、新規取組生産者に対する 栽培指導強化(適期作業の徹底、病害虫防除・追肥)や 出荷調整時の選別の強化により収量の向上を図る。	県内市場を介した県内実需者や 学校給食から需要があるため、 作付面積を拡大してロットを確保し 安定生産することで販売拡大につなげる。	
ブロッコリー(生食用)	機械化支援(補助事業等)による 労力不足解消、ほ場整備による 栽培ほ場の集約化・団地化により、 作付面積を拡大していく。 また、えだまめとの組み合わせに適しているため、 えだまめの作付拡大と併せて拡大を推進する。	ほ場整備等により排水対策を徹底し、 水田を汎用化し生産性の向上を図る。 既存の生産者、新規取組生産者に対する 栽培指導強化(特に育苗管理や病害防除)により 収量の向上を図る。	県内市場から需要があり、JAを通じた販売を主として、 春・秋出荷での販売拡大を図る。 また、基盤整備の進展と合わせながら 規模を拡大してロットを確保し、 販売額の向上を目指す。	
ふきのとう(生食用)	魚沼地域を中心に稲作農家の複 合経営として推進を図り、作付面積の 拡大を図る。	関係機関・生産者を交えた定期的な ほ場巡回を実施し、栽培技術レベルを 高める。 圃場整備等により排水対策を徹底し、 水田を汎用化し生産性の向上を図る。	促成販売による品質の高い製品を生産し、 有利販売を行う。 首都圏の市場から需要があり、JAを通じた 販売を主としてロットを確保し、販売拡大を図る。	
アスパラ菜(生食用)	冬期間に栽培が可能な品目として、 稲作農家への導入を図り、作付面積の 拡大を図る。	圃場整備等により排水対策を徹底し、 水田を汎用化し生産性の向上を図る。 新規取組者に対して普及センターやJA等 による指導を徹底し、収量の向上を図る。	JAを通じた販売を主としてロットを確保し、 販売額の向上につなげる。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	上越地域ぶどう産地協議会	上越市	
2	JAえちご中越 柏崎えだまめ生産部会	柏崎市、長岡市、刈羽村	
3	三面川沿岸土地改良区	村上市	
4	豊浦郷土地改良区	新発田市	
5	胎内川沿岸土地改良区	胎内市	
6	聖籠町	聖籠町	
7	阿賀野川土地改良区	阿賀野市、新潟市	
8	新津郷土地改良区	新潟市	
9	新潟市西蒲区	新潟市	
10	早出川土地改良区	五泉市	
11	三条市	三条市	
12	長岡市	長岡市	
13	魚沼市土地改良区	魚沼市	
14	十日町市	十日町市	
15	上越市等	上越市、妙高市	
16	糸魚川市土地改良区	糸魚川市	
17	川東土地改良区	新発田市	
18	加治郷土地改良区	新発田市	
19	新潟北土地改良区	新潟市	
20	亀田郷土地改良区	新潟市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	18-001
策定年月	令和2年2月
見直し年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
上越地域ぶどう産地協議会産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	上越地域ぶどう産地協議会
構成機関・団体名及び役割分担	上越市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供 関川水系土地改良区 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の合意形成 ・ほ場整備事業との連携・調整 上越地域振興局 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 JA ・販路開拓 連携・指導 農家 ・支援事業 酒造メーカー ・技術指導

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ぶどう	加工・業務用	露地	上越地域ぶどう産地協議会	0.14 ha (令和元年)	2.23 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1063 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	5,925,000 円 (令和6年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	18-002
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
JAえちご中越 柏崎えだまめ生産部会産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	JAえちご中越 柏崎えだまめ生産部会				
構成機関・団体名及び役割分担	柏崎市 (農業再生協議会) 柏崎地域振興局 JAえちご中越 かしわざき営農センター 長岡市・刈羽村 柏崎土地改良区 ・支援事業の情報提供 ・水田活用の直接支払 交付金の関係事務 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・生産指導 ・販路開拓 ・計画作成取りまとめ ・支援事業の情報提供 ・基盤整備事業等による耕作 条件の改善 ・ほ場整備と連動した農地集積				
	↑ ↓ JAえちご中越 柏崎えだまめ生産部会員				

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	JAえちご中越 柏崎地域	20.64 ha (令和元年)	42.00 ha (令和8年)	377 kg/10a (令和元年)	415 kg/10a (令和8年)	21,220,000 円 (令和元年)	104,500,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-003
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
三面川沿岸土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	三面川沿岸土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	村上市 (農業再生協議会) 村上地域振興局 JAにいがた岩船 三面川沿岸土地改良区 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保育成支援 ・計画策定の取りまとめ ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・営農指導 ・販路開拓 ・基盤整備事業等による耕作条件の改善 ・圃場整備と連動した農地集積・集約 連携・指導 農 家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
こんにゃくいも	加工・業務用	露地	三面川沿岸	0 ha (令和2年)	0.53 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	2,500 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	2,650,000 円 (令和8年)		
ブロッコリー	生食用	露地	三面川沿岸	0 ha (令和3年)	0.5 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	992 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	1,334,240 円 (令和9年)		
えだまめ	生食用	露地	三面川沿岸	0 ha (令和3年)	0.5 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	300 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	961,500 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-004
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
豊浦郷産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	豊浦郷土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	新発田地域振興局 ・推進計画のとりまとめ ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 新発田市 ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保育成、支援 JA北越後 ・営農指導 ・販路開拓 豊浦郷土地改良区 ・基盤整備事業等による耕作 条件の改善 ・地域の合意形成の促進 ・土地改良施設の管理 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	豊浦郷	1.5 ha (令和2年)	1.7 ha (令和8年)	240 kg/10a (令和2年)	300 kg/10a (令和8年)	1,080,000 円 (令和2年)	3,570,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-005
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
胎内川沿岸産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	胎内川沿岸土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	胎内市 新発田地域振興局 JA胎内市 胎内川沿岸土地改良区 ・支援事業の情報提供 ・基盤整備の推進 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・研修会の開催 ・生産指導 ・栽培技術指導 ・販路開拓 ・基盤整備事業の 地元調整 ・試験栽培の調整 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
さといも	生食用	露地	胎内川沿岸	0 ha (令和2年)	0.1 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	1,535 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	354,585 円 (令和8年)	(令和2年)	(令和8年)
ブロッコリー	生食用	露地	胎内川沿岸	0 ha (令和3年)	0.2 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	1,000 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	520,000 円 (令和9年)	(令和3年)	(令和9年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-006
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
聖籠町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	聖籠町
構成機関・団体名及び役割分担	聖籠町 新発田地域振興局 JA北越後 聖籠土地改良区 連携・指導 農家 ・支援事業の情報提供 ・基盤整備の推進 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・研修会の開催 ・生産指導 ・栽培技術指導 ・販路開拓 ・基盤整備事業の地元調整 ・試験栽培の調整

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	聖籠町	0.3 ha (令和2年)	0.7 ha (令和8年)	250 kg/10a (令和2年)	300 kg/10a (令和8年)	225,000 円 (令和2年)	1,470,000 円 (令和8年)	(令和2年)	(令和8年)
さといも	生食用	露地	聖籠町	0 ha (令和2年)	0.4 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	2,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,848,000 円 (令和8年)	(令和2年)	(令和8年)
ブロッコリー	生食用	露地	聖籠町	0.2 ha (令和2年)	0.4 ha (令和8年)	600 kg/10a (令和2年)	800 kg/10a (令和8年)	288,000 円 (令和2年)	1,040,000 円 (令和8年)	(令和2年)	(令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-007
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
阿賀野川土地改良区 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	阿賀野川土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	阿賀野川土地改良区 新発田地域振興局 新潟地域振興局 JA新潟かがやき 新潟市(江南区) 阿賀野市 連携・指導 農 家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	加工	露地	焼山・小島地区	0 ha (令和2年)	0.2 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	4,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	400,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
えだまめ	生食用	露地	関屋地区	0 ha (令和2年)	0.1 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	349 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	227,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-008
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
新津郷土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	新津郷土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	新津郷土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・ほ場整備と連携した農地集積、集約 ・地域の合意形成の促進 <支援機関> 新潟地域振興局 ・栽培技術指導 ・支援事業の情報提供 ・経営体育成基盤整備事業による耕作条件の改善 ・事業の進行管理と調整 JA新潟かがやき ・営農指導 ・販路開拓 新潟市秋葉区役所 ・担い手の確保育成支援 ・支援事業の情報提供 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	新津郷土地改良区	0.1 ha (令和2年)	3.6 ha (令和8年)	200 kg/10a (令和2年)	250 kg/10a (令和8年)	120,000 円 (令和2年)	6,750,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-009
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
新潟市西蒲区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	新潟市西蒲区
構成機関・団体名及び役割分担	新潟市 新潟地域振興局 J A 新潟 かがやき 西蒲原土地改良区 ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保育成、支援 ・水田活用の交付金の関係事務 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・計画作成のとりまとめ ・営農指導 ・農産物販売 ・販路拡大 ・基盤整備事業等による 耕作条件の改善 ・ほ場整備と連動した農 地集積・集約 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	生食用	露地	新潟市西蒲区	0 ha (令和3年)	0.6 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	3,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	1,530,000 円 (令和8年)		
キャベツ	生食用	露地	新潟市西蒲区	0 ha (令和3年)	0.1 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	2,800 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	246,400 円 (令和8年)		
えだまめ	生食用	露地	新潟市西蒲区	0 ha (令和3年)	0.5 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	480 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	1,874,400 円 (令和9年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-010
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
早出川土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	早出川土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	早出川土地改良区(事務局) ・計画作成取りまとめ ・基盤整備事業による耕作条件改善 ・ほ場整備と連動した農地集積・集約 JA新潟みらい ・生産指導 ・販路開拓 新潟地域振興局 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 五泉市 ・支援事業の情報提供 連携・指導 農業者 (ほ場整備推進協議会)

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
さといも	生食用	露地	早出川土地改良区	0.9 ha (令和2年)	1.5 ha (令和8年)	1,400 kg/10a (令和2年)	1,500 kg/10a (令和8年)	3,780,000 円 (令和2年)	8,325,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-011
策定年月	令和4年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
三条市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	三条市
構成機関・団体名及び役割分担	三条市 三条地域振興局 J Aにいがた南蒲 下田土地改良区 三条土地改良区 市農業委員会 ・関係機関の連絡調整 ・計画策定の取りまとめ ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保、育成 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 ・営農指導 ・販路の確保、拡大 ・基盤整備事業等による 耕作条件の改善 ・圃場整備と連携した農 地集積,集約化 ・農地情報の相談 ・農地集積、集約の推進 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
こんにゃくいも	加工 業務用	露地	三条市	0 ha (令和2年)	1.2 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	2,500 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	6,210,000 円 (令和8年)		
さといも	生食用	露地	三条市	0 ha (令和2年)	1.0 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	1,400 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	2,100,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-012
策定年月	令和4年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
長岡市 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	長岡市
構成機関・団体名及び役割分担	長岡地域振興局 JA越後ながおか 長岡市 信濃川左岸土地改良区 福島江土地改良区 農家 ・支援事業の情報提供 ・ほ場整備事業による耕作条件の改善 ・栽培指導 ・生産指導 ・集出荷体制の構築 ・販路開拓 ・支援事業の情報提供 ・計画作成とりまとめ ・ほ場整備と連携した農地集積 ・ほ場整備事業の推進

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	長岡	0 ha (令和2年)	0.9 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	300 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,927,800 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。
- ※ 収量は出荷量とした。

(別添2)

No.	18-013
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
魚沼市土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	魚沼市土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	魚沼市土地改良区 魚沼市 (農業再生協議会) 魚沼地域振興局 JA北魚沼 加工メーカー ・関係機関と担い手との連絡調整 ・ほ場整備と連携した農地集積、集約化 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保育成、支援 ・計画のとりまとめ ・支援事業情報提供 ・栽培技術指導 ・関係機関との調整 ・営農指導 ・販路開拓 ・技術指導 ・販路拡大 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
加工トマト	加工・業務	露地	魚沼市 土地改良区	0.0 ha (令和2年)	0.5 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	6,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,200,000 円 (令和8年)		
ふきのとう	生食用	露地	魚沼市 土地改良区	0.02 ha (令和3年)	0.77 ha (令和9年)	202 kg/10a (令和3年)	240 kg/10a (令和9年)	127,680 円 (令和3年)	4,620,000 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-014
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
十日町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	十日町市
構成機関・団体名及び役割分担	十日町土地改良区 中里土地改良区 ・基盤整備事業等による耕作条件の改善 ・地域の合意形成の促進 ・ほ場整備と連携した農地集積、集約 十日町地域振興局 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 十日町市 ・支援事業の情報提供 苗場高原生産組合 ・販路開拓 連携・指導 農 家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	十日町	3.0 ha (令和2年)	3.3 ha (令和8年)	260 kg/10a (令和2年)	300 kg/10a (令和8年)	4,648,800 円 (令和2年)	5,445,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-015
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
上越市等産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	上越市
構成機関・団体名及び役割分担	上越市・妙高市 ・各関係機関の連携・調整 ・担い手の育成・確保の推進 上越地域振興局 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術指導 JAえちご上越 ・営農指導 ・販路開拓 メーカー ・販路拡大支援 関川水系土地改良区 和田土地改良区 大潟あさひ土地改良区 上越市板倉区総合事務所 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の合意形成 ・担い手との連携 ・ほ場整備事業との連携・調整 連携・指導 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	上越市等	0.00 ha (令和2年)	0.85 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和2年)	300 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和2年)	1,759,500 円 (令和8年)	- (令和2年)	- (令和8年)
大根	加工・業務用	露地	上越市等	0.20 ha (令和2年)	0.30 ha (令和8年)	3,970 kg/10a (令和2年)	4,000 kg/10a (令和8年)	714,515 円 (令和2年)	1,080,000 円 (令和8年)	- (令和2年)	- (令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-016
策定年月	令和4年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
糸魚川市土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	糸魚川市土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	糸魚川市土地改良区 糸魚川地域振興局 JAひすい 糸魚川市 連携・指導 農家 ・ほ場整備と連携した農地集積、集約 ・地域の合意形成の促進 ・栽培技術指導 ・支援事業の情報提供 ・事業の進行管理と調整 ・販路確保 ・栽培技術指導 ・担い手の確保育成支援 ・支援事業の情報提供

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
えだまめ	生食用	露地	糸魚川	0.15 ha (令和2年)	1.00 ha (令和8年)	106 kg/10a (令和2年)	400 kg/10a (令和8年)	131,970 円 (令和2年)	2,480,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-017
策定年月	令和5年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
川東産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	川東土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	新発田市 新発田地域振興局 JA北越後 川東土地改良区 ・支援事業の情報提供等 ・基盤整備の推進 ・支援事業の情報提供 ・栽培技術の指導 ・研修会の開催 ・生産指導 ・栽培技術指導 ・販路開拓 ・基盤整備事業の地元調整 ・試験栽培の調整 連携・指導 農 家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	加工・業務用	露地	川 東	0.1 ha (令和3年)	0.15 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	5,000 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	450,000 円 (令和9年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-018
策定年月	令和5年3月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
加治郷地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	加治郷土地改良区
構成機関・団体名及び役割分担	新発田地域振興局 新発田市 JA北越後 加治郷土地改良区 ・推進計画のとりまとめ ・支援事業の情報提供 ・営農指導 ・基盤整備事業等による耕作条件の改善 ・支援事業の情報提供 ・担い手の確保育成、支援 ・販路開拓 ・地域の合意形成の促進 ・土地改良施設の管理 ・栽培技術指導 連携・指導 農 家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	加工・業務用	露地	加治郷	0 ha (令和3年)	0.1 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	5,000 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	300,000 円 (令和9年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-019
策定年月	令和5年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
新潟北土地改良区 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	新潟北土地改良区									
構成機関・団体名及び役割分担	新潟北土地改良区 新発田地域振興局 新潟地域振興局 JA新潟市 新潟市(北区) 連携・指導 農家									

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
アスパラ菜	生食用	施設	新潟北	0 ha (令和3年)	0.1 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	2,000 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	800,000 円 (令和9年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-020
策定年月	令和5年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
亀田郷土地改良区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	亀田郷土地改良区									
構成機関・団体名及び役割分担	亀田郷土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・ほ場整備と連携した農地集積・集約 ・地域の合意形成の促進 新潟地域振興局 ・栽培技術指導 ・支援事業の情報提供 ・経営体育成基盤整備による耕作条件の改善 ・事業の進行管理と調整 JA新潟かがやき ・営農指導 新潟市(江南区) ・担い手の確保育成支援 ・支援事業の情報提供 窪田梨果園 ・販路の確保 農家 ・推進品目の作付け 連携・指導									

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キャベツ	生食用	露地	茅野山	0.0 ha (令和3年)	0.1 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和3年)	2,290 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和3年)	320,600 円 (令和9年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。